

証券コード 3436



SUMCO 株主通信

第20期 中間期

2018年1月1日～2018年6月30日

■ INDEX

- 01 ごあいさつ
連結業績ハイライト
- 03 特集：半導体用
シリコンウェーハの市場動向
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ



未来を創造する技術を育てています

》ごあいさつ



代表取締役 会長兼CEO
橋本 真幸

株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2018年上期(1-6月期)の半導体シリコンウェーハ市場は、データセンター、クラウドコンピューティング、人工知能(AI)、IoT、自動車、産業向けなどの旺盛な半導体需要に加え、情報通信量の増大による端末機器等の記憶容量の飛躍的増加により、供給能力を上回る需要が継続いたしました。このような市場の成長に加え、300mmウェーハに於きましては、デザインルールの微細化の減速により、これを補うためのウェーハ所用増も顕著になってきております。

このような環境のもと、2018年上期の業績は、ウェーハ価格の適正化が進み、前年同期比で大幅な増収増益を達成いたしました。

2018年12月期の中間配当につきましては、当期における利益水準、次期以降の見通し、設備投資に係る資金需要および内部留保の状況等を総合的に勘案し、1株当たり30円に決定いたしました。

中期目標である自己資本比率50%以上、グロスD/Eレシオ0.5倍以下の財務体質改善につきましては、着実に収益をあげることににより早期達成を目指してまいります。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼CEO 橋本 真幸



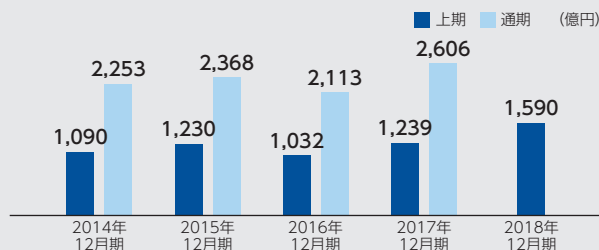
1. 技術で世界一の会社

2. 景気下降局面でも赤字にならない会社

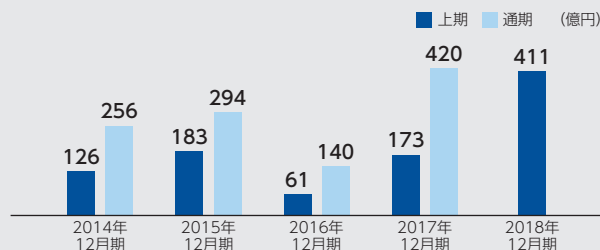
連結業績 ハイライト

(注)日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。

売上高



営業利益



株主の皆様には平素より当社へのご理解とご支援を戴き厚く御礼申し上げます。

足許の市場環境は、当社主力製品の300mmウェーハのみならず200mm以下の小口径ウェーハについても、需給ひっ迫の状況が続いております。

このような状況のなか、当社は引き続き「SUMCOビジョン」の方針に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により顧客での高いプレゼンスを維持してまいります。また、品質・生産性向上などの業務改革を推進し歩留改善・原単位低減を図るとともに、価格適正化による損益の改善に努めてまいります。

一方、顧客からの300mmウェーハ増量要求に関しましては、先端半導体向け高精度ウェーハ需要を確実にとらえ、市場の成長に見合った段階的能力増強に努めてまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長兼COO 降屋 久

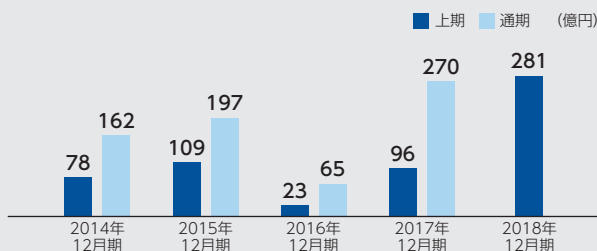
代表取締役 社長兼COO
降屋 久



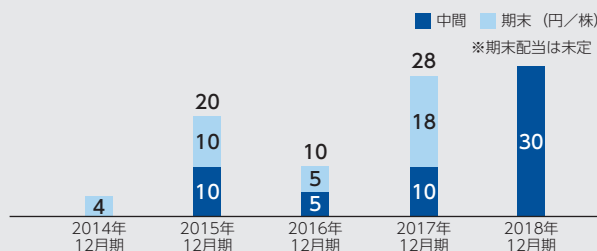
3. 社員が活き活きとした利益マインドの高い会社

4. 海外市場に強い会社

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり配当金



半導体用シリコンウェーハの市場動向

半導体は、IoT(Internet of Things)、クラウドコンピューティング・人工知能(AI)、データセンター、自動車や産業向けなど、幅広い分野向けに市場が拡大しています。

スマートフォン向けも、生産台数の伸びは鈍化していますが、指紋認証・顔認証・トリプルカメラ化など高機能化しており、使用される半導体は増えています。

また、PCやタブレット向けも台数成長はほとんどありませんが、半導体需要を下支えしています。

半導体市場は、足許では最先端DRAMの増設計画の一部延期、NAND価格の軟化、スマートフォンの調整等のニュースがありますが、メモリーを中心にロジック・アナログ・マイクロ・ディスクリットなど主要製品全てが今年も来年も、成長すると予想されています。(図1)

半導体用シリコンウェーハ市場も、旺盛な半導体需要に支えられ、300mm・200mmともに2016年以降は大きな季節変動もなく、好調な出荷が続いています。

特に300mmは、18/2Qに600万枚／月の出荷がありました。足許は供給能力いっぱいの出荷が続いており、需給はタイトな状況が続いています。(図2、3)

図1 半導体市場予測

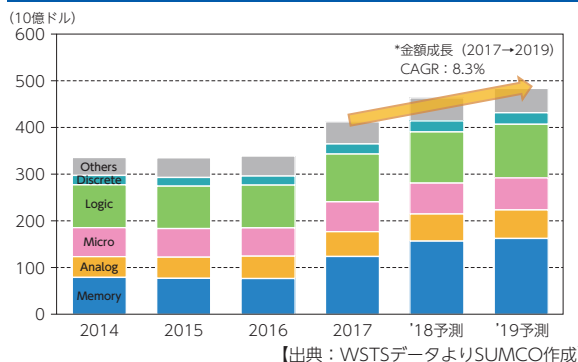


図2 300mmシリコンウェーハの四半期別需要推移

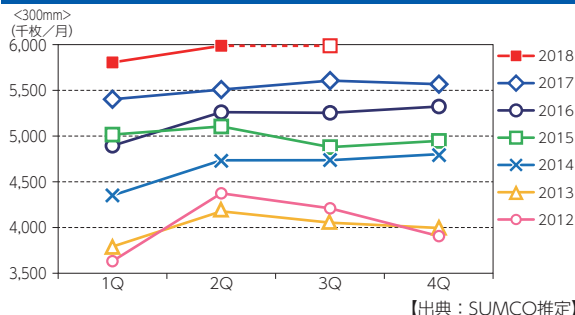
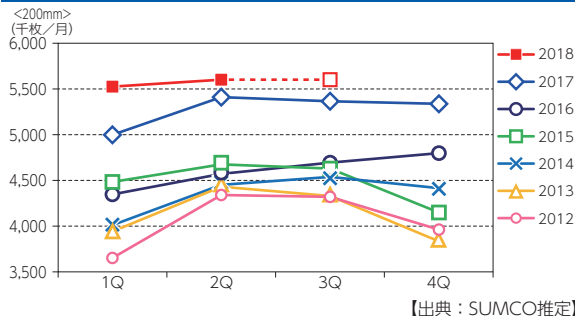


図3 200mmシリコンウェーハの四半期別需要推移



先端メモリー分野では、半導体技術の難易度が拡大しています。

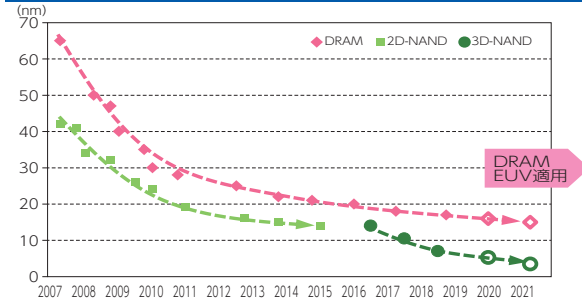
DRAMは20nm以降の微細化が鈍化し始め、NANDは2Dの微細化は停止し、3D化(高層化)で微細化は進展しています。しかしながら3D-NANDの微細化(高層化)も将来的には鈍化すると考えています。(図4)

微細化が鈍化し始めたことから、メモリー市場の成長(ビット成長)と微細化による容量増(シュリンク率)とのギャップが拡大しています。このギャップを埋めるために、シリコンウェーハの投入量が増加する傾向にあります。(図5)

300mmウェーハの2022年までの需要は、長期的傾向を示す購買力平価GDPに基づく予想(4.3%)を上回ると予想しています。

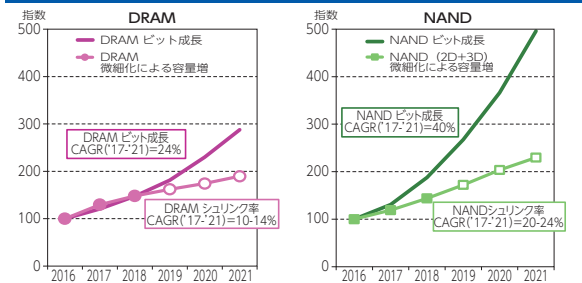
また業界として、2021年以降はグリーンフィールド投資(新建屋)が必要になると予想しています。(図6)

図4 先端メモリーの微細化



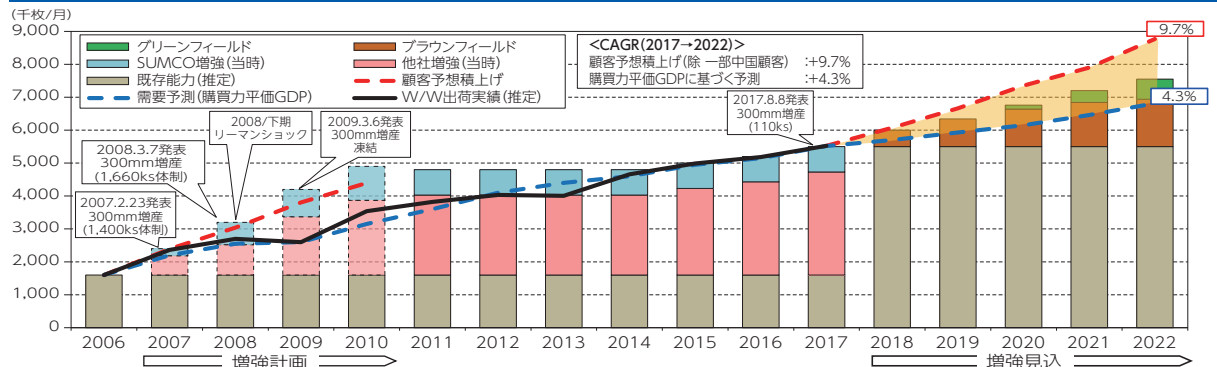
【出典：SUMCO推定】

図5 DRAM・NANDのビット成長と微細化



【出典：SUMCO推定】

図6 300mmウェーハ需要予測



【出典：SUMCO推定】

市場環境と業績見通し

18年上期
(1-6月)
市場環境

当上期の半導体用シリコンウェーハ市場は、旺盛な半導体需要に支えられ、各口径ともに強い需要が継続しました。

300mmウェーハは、通信量の伸長に伴うデータセンター向けや高性能ロジックデバイスなどの需要が牽引し、供給能力を上回る需要が継続しました。200mm以下の小口径ウェーハについても、自動車・産業・IoT向けが牽引し、需給ひっ迫が継続しました。

18年上期
(1-6月)
事業成績

このような環境のもと、当上期における当社グループの業績は、売上高1,590億円、営業利益411億円、経常利益400億円、親会社株主に帰属する四半期純利益281億円となりました。

当上期の営業利益を前年同期と比較すると、下左図の通り、円高や数量増に伴うコスト上昇はありましたが、主に価格改善により販売生産関係が増益要因になったことから、前年同期比238億円の増益となりました。

今後の見通し
18年3Q累計
(1-9月)

18年3Q(7-9月)の半導体用シリコンウェーハ市場は、強い半導体需要のもと、需給ひっ迫の状況が継続すると予想しています。

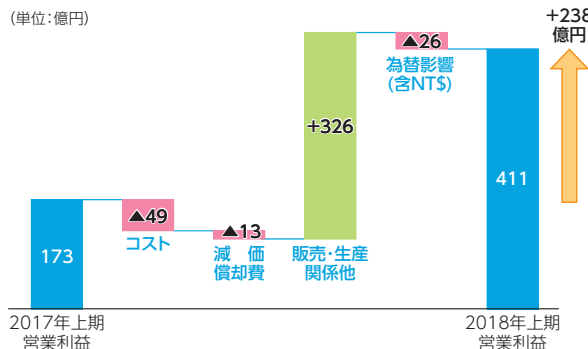
18年度3Q累計の業績見通しについては、3Qの為替レートを110円／ドル(累計で109.3円／ドル)とし、下右表の通り、前年同期比で増収・増益を予想しています。

営業利益増減分析(2017年上期→2018年上期)

(単位:億円)

	2017年上期	2018年上期	増減
売上高	1,239	1,590	+ 351
営業利益	173	411	+ 238
為替 (円／ドル)	112.8	108.9	▲3.9

(単位:億円)



2018年3Q累計(1-9月期)連結業績予想

項 目	2017年3Q累計 実績(1-9月)	2018年3Q累計 予想(1-9月)	増減額
売上高 (億円)	1,904	2,450	+546
営業利益 (億円)	287	631	+344
経常利益 (億円)	242	610	+368
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (億円)	166	426	+260
1株当たり四半期純利益 (円)	56.7	145.3	+88.6
為替レート (円／ドル)	112.1	109.3	▲2.8

注) 業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

会社概要 (2018年6月末現在)	
商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 Tel : 03-5444-0808 https://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	138,718百万円
従業員数	連結7,913名 単体3,792名
IRお問い合わせ先	広報・IR室 : 03-5444-3915

取締役 (2018年6月末現在)		
代表取締役 会長兼CEO	橋 本 眞 幸	
代表取締役 副会長	瀧 井 道 治	
代表取締役 社長兼COO	降 屋 久	
代表取締役 副社長	平 本 一 男	
取締役 専務執行役員	井 上 文 夫	
取締役 常務執行役員	阿 波 俊 弘	
取締役 (常勤監査等委員)	吉 川 博	
取締役 (常勤監査等委員)	片 濱 久	
取締役 (監査等委員)	田 中 等 *	
取締役 (監査等委員)	三 富 正 博 *	
取締役 (監査等委員)	太 田 信 一 郎 *	
取締役 (監査等委員)	不 破 章 雄 *	

* 社外取締役 (独立役員)

株式情報

株式情報 (2018年6月末現在)	
発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	293,285,539株
総株主数	62,309名

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会議決権行使株主確定日 毎年12月31日
	配当金支払株主確定日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ (https://www.sumcosi.com/)に掲載いたします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、日本経済 新聞に掲載して公告いたします。
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 3436)

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <https://www.sumcosi.com/>

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

- 証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記電話照会先までご連絡ください。

■ 単元未満株式の買取請求について

単元 (100株) 未満株式の買取請求につきましては、株主さま口座のある証券会社にお申し出ください。
(証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

For All Innovation

半導体の進化が世の中を変える

時代を変え、風景を変え、あなたと私のこれからを変える

次の100年、半導体でどう変わるだろうか

シリコンウェーハは半導体テクノロジーの根源

半導体の進化が未来を創る

SUMCO

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel: 03-5444-0808

<https://www.sumcosi.com/>

見通しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定（当社の主観的判断に基づくものを含みます。）に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、
大豆インクを
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。